# Microsoft Windows XP Conversion Kit の使用

**警告：**
**Windows XP のインストールを実行するには、インターネット・アクセスと追加のドライバーが必要です。Windows XP オペレーティング・システムをインストールする前に、説明書をよくお読みください。**

## 概要

*Operating System Recovery Disc for Microsoft® Windows® XP Professional SP 3* (これ以降、「Windows XP リカバリー・ディスク」と呼びます) は、初期インストールされているバージョンの Microsoft Windows 7 または Microsoft Windows Vista® オペレーティング・システムを Microsoft Windows XP Professional に変換するための専用ディスクで、Lenovo 製品で使用できるように設計されています。

Windows XP リカバリー・ディスクには、Windows XP Professional Service Pack 3 をインストールするために Microsoft から提供された基本ファイルは収録されていますが、特定のハードウェア機能に必要なデバイス・ドライバーは含まれていません。インストール手順を開始する前に、USB キーや記録可能 CD などのデバイス・ドライバーやプログラムのセットを、リムーバブル・メディアにダウンロードしておくことが必要です。これらのドライバーやアプリケーションはインストール手順の中でインストールすることになります。ThinkVantage System Update プログラムを使用して Lenovo サポート Web サイトから残りのデバイス・ドライバーやアプリケーションを取得してインストールする手順は、自動的に実行されます。

この文書に記載されている手順を、説明の順序に従って実行してください。

**注：**ここで説明する手順では、RAID 構成の設定方法については触れません。

## インストール手順を始める前に

**警告：**
**インストール処理の間に、ハードディスク上のすべてのデータが削除されます。インストール処理を開始する前に、保存しておきたいファイルをリムーバブル・メディアやネットワーク・ドライブにコピーしておいてください。**

後日オペレーティング・システムを復元する必要が生じた場合に備えて、コンピューターに現在インストールされているオペレーティング・システムのリカバリー・ディスク・セットを作成しておくことは、非常に重要です。

- Microsoft Windows 7 オペレーティング・システムでリカバリー・メディアを作成するには、**「スタート」** ➔ **「すべてのプログラム」** ➔ **「Lenovo ThinkVantage Tools」** ➔ **「出荷時状態へのリカバリー・ディスク」**の順にクリックします。
- Microsoft Windows Vista® オペレーティング・システムでリカバリー・メディアを作成するには、**「スタート」** ➔ **「すべてのプログラム」** ➔ **「ThinkVantage」** ➔ **「プロダクト・リカバリー・メディアの作成」**の順にクリックします。

## 前提条件となるドライバーとプログラムのダウンロード

提供された Windows XP リカバリー・ディスク・セットから Windows XP Professional をインストールする前に、Lenovo サポート Web サイトと Microsoft Web サイトからいくつかのデバイス・ドライバーとプログラムをダウンロードする必要があります。

### Lenovo ドライバーとアプリケーションのダウンロード

Lenovo ドライバーとアプリケーションをダウンロードするには、次のようにします。

1. リムーバブル・メディアを挿入し、次のフォルダーを作成します。
   - Ethernet
   - TVSU
2. http://www.lenovo.com/support にアクセスします。
3. 「ダウンロードおよびドライバー」セクションで、コンピューターのブランドをクリックします。「ドライバーとソフトウェア」ページが開きます。
4. ファミリー・タイプをクリックします。使用可能なドライバーのリストが表示されます。
5. 次の操作を行います。
   - イーサネット・ドライバー (Windows XP 版) と、関連するインストール手順を Ethernet フォルダーにダウンロードします。インストール手順は後で必要になります。
   - ThinkVantage System Update を TVSU フォルダーにダウンロードします。
6. 2 ページの 『Microsoft .NET Framework 3.5 のダウンロード』に進んでください。

## Microsoft .NET Framework 3.5 のダウンロード

Microsoft .NET Framework 3.5 をダウンロードするには、次のようにします。

1. リムーバブル・メディアに、NET_Framework という名前のフォルダーを作成します。
2. http://www.microsoft.com/downloads に移動します。
3. 「Search All Download Center (マイクロソフト サイトの検索)」フィールドに、「.NET」と入力します。
4. **「.NET Framework 3.5」**をクリックします。Microsoft .NET Framework 3.5 をダウンロードするページが開きます。
5. **「Download (ダウンロード)」**ボタンをクリックします。「ファイルのダウンロード」ウィンドウが開きます。
6. **「保存」**をクリックします。「名前をつけて保存」ウィンドウが開きます。
7. リムーバブル・メディアに作成した NET_Framework フォルダーにナビゲートし、**「保存」**をクリックします。NET Framework 3.5 実行可能ファイルのダウンロードが行われます。
8. ダウンロードが完了したら、リムーバブル・メディアを取り出します。

## Windows XP をインストールするための SATA ハード・ディスク・コントローラーの準備

Windows XP をディスクからインストールする場合、BIOS Setup Utility を使用して、SATA Controller を IDE 互換モード (AHCI は無効) に設定する必要があります。SATA Controller を互換モードに設定しないと、インストールを開始するときに Windows XP インストール・プログラムでエラーが発生し、ブルー・スクリーンが表示されます。

1. コンピューターをシャットダウンします。
2. コンピューターの電源を入れたらすぐに、BIOS Setup Utility が起動するまで F1 キーを繰り返し押します。
3. SATA Controller を設定する方法は、使用しているモデルによって異なります。ほとんどの Lenovo コンピューター向けの一般的なガイドラインを次に示します。一部のメニュー項目は、使用しているモデルによって異なります。

   **ノートブック・コンピューターの場合:**

   a. 上矢印キーと下矢印キーを使用してメインメニューから**「Config」**を選択し、Enter キーを押します。

   b. 「Config」メニューから**「Serial ATA (SATA)」**を選択し、Enter キーを押します。

   c. F6 キーを使用して、SATA Controller の設定を**「Compatibility」**に設定します。

d. 新しい設定を保存して、BIOS Setup Utility を終了するには、F10 キーを押します。

**デスクトップ・コンピューターの場合:**

a. 左矢印キーと右矢印キーを使用してメインメニューから**「Devices」**を選択し、使用しているモデルに応じて「Devices」メニューから**「IDE Drives Setup」**または**「ATA Drive Setup」**を選択して、Enter キーを押します。

b. SATA Controller の設定を、使用しているモデルに応じて**「IDE」**または**「Disabled」**に設定します。

c. 新しい設定を保存して、BIOS Setup Utility を終了するには、F10 キーを押します。

**重要：**SATA Controller を IDE 互換モード (AHCI は無効) に設定すると、現在インストールされているオペレーティング・システムが起動しなくなることがあります。これは正常な動作です。スタートアップ修復を行うための措置は必要ありません。

## DVD から起動するように起動順序を設定する

DVD から起動するように起動順序を設定するには、次のようにします。

1. コンピューターをシャットダウンします。
2. 外付けの DVD ドライブを使用する場合は、この手順を開始する前に、ドライブが接続されていることを確認してください。
3. コンピューターの電源を入れたらすぐに、BIOS Setup Utility が起動するまで F1 キーを繰り返し押します。
4. 起動順序を設定する方法は、使用しているモデルによって異なります。ほとんどの Lenovo コンピューター向けの一般的なガイドラインを次に示します。一部のメニュー項目は、使用しているモデルによって異なります。

**ノートブック・コンピューターの場合:**

a. 上矢印キーと下矢印キーを使用してメインメニューから**「Startup」**を選択し、Enter キーを押します。

b. 「Startup」メニューから**「Boot」**を選択し、Enter キーを押します。

c. 起動順序で、USB CD ドライブの現在の順序を書き留めます。この情報は、Windows XP インストールの完了後、起動順序を復元するときに必要になります。

d. USB CD ドライブを選択し、F6 キーを使用して USB CD ドライブを最初の起動デバイスに移動します。

e. 新しい設定を保存して、BIOS Setup Utility を終了するには、F10 キーを押します。

**デスクトップ・コンピューターの場合:**

a. 左矢印キーと右矢印キーを使用してメインメニューから**「Startup」**を選択し、使用しているモデルに応じて「Startup」メニューから**「Primary boot sequence」**または**「Startup Sequence」**を選択します。「Primary boot sequence」画面が表示されます。

**注：** 内蔵 DVD ドライブは、使用しているモデルに応じて、CD ドライブまたは CD/DVD ドライブとして表示されることがあります。サポートされる外付けの DVD ドライブは、使用しているモデルに応じて、USB CDROM または USB CD/DVD として表示されます。

b. 起動順序で、DVD ドライブの現在の順序を書き留めます。この情報は、Windows XP インストールの完了後、起動順序を復元するときに必要になります。

c. 次のいずれかを行って、DVD ドライブを最初の起動デバイスとして設定します。

- DVD ドライブが最初のデバイスとして表示されている場合は、ステップ4 ページの ステップ d.に進みます。
- 選択した DVD デバイスが起動順序で最初のデバイスではないデバイスとして表示されている場合は、対象のデバイスを選択し、最初のデバイスとして表示されるまで、プラス (+) キーを繰り返し押します。次に、ステップ4 ページの ステップ d.に進んでください。

- 選択した DVD デバイスが除外されるデバイスとして表示されている場合は、対象のデバイスを選択して X キーを 1 回押し、このデバイスを起動順序に追加します。次に、対象の DVD デバイスを選択して、最初のデバイスとして表示されるまで、プラス (+) キーを繰り返し押します。ステップ4 ページの ステップ d.に進みます。

d. 新しい設定を保存して、BIOS Setup Utility を終了するには、F10 キーを押します。

## Microsoft Windows XP Professional のインストール

インストール手順を開始する前に、次の手順を実行してください。

- 『前提条件となるドライバーとプログラムのダウンロード』の手順に従って、必要なすべてのドライバーとアプリケーションをリムーバブル・メディアにダウンロードします。
- 保存しておきたいファイルをリムーバブル・メディアやネットワーク・ドライブにコピーします。
- 『Windows XP をインストールするための SATA ハード・ディスク・コントローラーの準備』の手順に従って、SATA Controller を IDE 互換モード (AHCI は無効) に設定します。
- 『DVD から起動するように起動順序を設定する』の手順に従って、DVD デバイスを起動順序の最初のデバイスとして設定します。

Windows XP をインストールするには、次のようにします。

1. コンピューターを起動し、すぐに、Windows XP リカバリー・ディスクを挿入します。画面を注意して見てください。プロンプトが表示されたら、任意のキーをクリックして CD を起動します。
2. 「セットアップへようこそ」画面が表示されたら、Enter キーを押してセットアップ処理を開始します。
3. ライセンス条項を読みます。条項に同意する場合は、F8 キーを押します。条項に同意しない場合は、Esc キーを押します。
4. 修復画面が表示されたら、Esc キーを押します。それ以外の場合は、ステップ 5 に進みます。オペレーティング・システムがインストールされている場合、修復画面が表示されます。Esc キーを押します。
5. 画面が開き、ハードディスクの既存のパーティションとパーティション化されていないスペースが表示されます。
   - オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、**「パーティション化されていないスペース」**を選択し、Enter キーを押して続行します。
   - オペレーティング・システムがインストールされている場合は、現在設定されているパーティションの情報が表示されます。次の操作を行います。
     a. ドライブ C のエントリに移動し、**「Partition1」**を強調表示して、D キーを押してこのパーティションを削除します。
     b. プロンプトが出されたら、Enter キーを押して、パーティションを削除することを確認します。
     c. 2 番目の確認画面が表示されたら、L. キーを押します。パーティション情報画面が開き、更新された情報が表示されます。
     d. ドライブ C の残りのパーティションについて、同じ手順を繰り返します。
     e. すべてのパーティションを削除し、パーティション化されていないスペースだけが表示されたら、Enter キーを押してセットアップを続行します。
6. **「NTFS ファイル システムを使用してパーティションをフォーマット」**と**「NTFS ファイル システムを使用してパーティションをフォーマット (クイック)」**のいずれかを選択します。フォーマットにかかる時間は、選択したオプションとパーティションのサイズによって異なります。フォーマットが完了すると、セットアップ・プログラムによって数多くのファイルがハードディスクにコピーされ、Windows XP のインストールが開始されます。
7. プロンプトが出されたら、画面に表示される指示に従って、Windows セットアップに必要な情報を入力してください。

8. 基本のインストールが完了すると、コンピューターが再起動され、「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されます。画面に表示される指示に従って、Windows XP のセットアップを完了します。
9. インストールが完了したら、Windows XP リカバリー・ディスクを取り出します。

## ドライバーのインストールと更新

ドライバーをインストールして更新するには、次のようにします。

1. コンピューターを有線イーサネットで接続します。
2. 以前にダウンロードしたドライバーとソフトウェアを収録したリムーバブル・メディアを挿入します。次に、ドライバーとソフトウェアを次の順序でインストールします。
   a. イーサネット・フォルダーからイーサネット・ドライバーをインストールします。イーサネット・ドライバーを使用してダウンロードしたインストール手順を参照します。
   b. NET_Framework フォルダーから .NET Framework 3.5 をインストールします。
   c. TVSU フォルダーから ThinkVantage System Update プログラムをインストールします。システムを再起動するようにプロンプトが出されたら、リムーバブル・メディアを取り出してから **「はい」** をクリックして、システムを再起動します。
3. システムが再起動して Windows デスクトップが表示されたら、**「スタート」 ➔ 「すべてのプログラム」 ➔ 「ThinkVantage」 ➔ 「System Update」** の順にクリックします。ThinkVantage System Update プログラムが起動します。
4. 「**新規更新の取得**」をクリックします。ユーザー情報画面が表示されます。
5. **「OK」** をクリックします。ThinkVantage System Update プログラムにより、検索が開始され、使用条件が表示されます。条件に同意する場合は、**「同意する」** をクリックします。

   **注：** 使用条件に同意しない場合は、**「同意しない」** をクリックしてプログラムを終了します。
6. 使用可能な更新のリストが表示されます。「重要」、「推奨」、「オプション」の各タブを開き、**「すべて選択」** をクリックして、**「次へ」** をクリックします。
7. 選択した更新のリストを確認します。リストから更新を削除するには、該当する更新に関連した **「削除」** ボタンをクリックします。
8. **「ダウンロード」** をクリックすると、更新処理が開始されます。ThinkVantage System Update プログラムにより、使用可能なドライバーと更新が自動的にダウンロードされてインストールされます。ただし、更新によっては、使用条件への同意が求められる場合があります。画面を注意して見てください。コンピューターの再起動が必要な更新がある場合、すべての更新がインストールされた後でコンピュータを再起動するようにプロンプトが出されます。プロンプトが表示されたら、**「はい」** をクリックします。
9. 次のようにして、すべてのハードウェア・デバイスが正常に機能していることを確認します。
   a. **「スタート」 ➔ 「コントロール パネル」 ➔ 「パフォーマンスとメンテナンス」 ➔ 「システム」** をクリックします。
   b. **「ハードウェア」** タブをクリックし、**「デバイス マネージャ」** をクリックします。
   c. インストールされているデバイスのリストを確認します。横に疑問符が表示されているデバイスがある場合、そのデバイスは機能していません。疑問符が 1 つもない場合は、すべてのデバイスが正常に機能しています。機能していないデバイスがある場合は、もう一度、ThinkVantage System Update プログラムを実行してください。ThinkVantage System Update プログラムを実行しても、機能していないデバイスがデバイス マネージャに表示される場合は、そのデバイスを書き留めて http://www.lenovo.com/support にアクセスし、ドライバーに付属の説明書に従って関連するドライバーのダウンロードとインストールを手動で行ってください。

      アフターマーケット・デバイスを取り付けていて、その中に正常に機能しないデバイスがある場合は、該当するデバイスのデバイス・ドライバーとソフトウェアのインストールが必要になることがあります。追加情報については、アフターマーケット・デバイスに付属の資料を参照してください。

10. http://www.lenovo.com/support にアクセスし、次に挙げるハードディスク・ドライブのパフォーマンスに関連のあるドライバー (いずれか 1 つ) と、そのインストール手順をハードディスクにダウンロードします。

    **注 :** 使用しているモデルに応じて、以下のいずれかのドライバーが表示されます。

    - インテル・ラピッド・ストレージ・テクノロジー・ドライバー: Windows XP (32 ビット) をサポートするバージョンをダウンロードします

    **または**

    - インテル・マトリクス・ストレージ・マネージャ・ドライバー: Windows XP (32 ビット) をサポートするバージョンをダウンロードします

    ドライバーに付属のインストール手順に従って、ドライバーをインストールします。説明書をよくお読みください。

## インストールの完了

Windows XP オペレーティング・システムと、インストールされたすべてのデバイスが正常に機能することを確認したら、起動順序をオリジナルの構成に復元できます。または、CD または DVD ドライブを最初の起動デバイスとして設定したままにしておくこともできます。CD/DVD ドライブを最初の起動デバイスとして設定したままにしておくと、起動時間が多少長くなるかもしれませんが、機能上の影響はありません。

起動順序をリセットする手順は、次のとおりです。

1. コンピューターをシャットダウンします。
2. コンピューターの電源を入れたらすぐに、BIOS Setup Utility が起動するまで F1 キーを繰り返し押します。
3. 「Boot」メニュー (ノートブック・コンピューター) または「Primary Boot Sequence」メニュー (デスクトップ・コンピューター) を開きます。
4. 画面の指示に従って、CD/DVD ドライブを起動順序の元の位置に移動します。

    **警告 :**
    **BIOS 設定の復元に F9 機能は使用しないでください。F9 機能では、SATA 設定を含めてすべての BIOS 設定がデフォルトの設定値に復元され、Windows XP オペレーティング・システムが起動しなくなります。**

5. 次のいずれかを行って、SATA Controller を AHCI モードに設定します。

    **ノートブック・コンピューターの場合:**

    a. 上矢印キーと下矢印キーを使用してメインメニューから **「Config」** を選択し、Enter キーを押します。

    b. 「Config」メニューから **「Serial ATA (SATA)」** を選択し、Enter キーを押します。

    c. F6 キーを使用して、SATA Controller の設定を **「AHCI」** に設定します。

    **デスクトップ・コンピューターの場合:**

    a. 左矢印キーと右矢印キーを使用してメインメニューから **「Devices」** を選択し、使用しているモデルに応じて「Devices」メニューから **「IDE Drives Setup」** または **「ATA Drive Setup」** を選択して、Enter キーを押します。

    b. SATA Controller の設定を、使用しているモデルに応じて **「AHCI」** または **「Enabled」** に設定します。

これで、Windows XP オペレーティング・システムのインストールが完了しました。